

夏休みプール開放

夏休みに入った7月21日(木)からプール開放を始めました。初日は、プール開放を待ち望んでいた子どもたち55人が参加しました。子どもたちは、水しぶきを上げながら水遊びを楽しんでいました。今年度は、12日間予定していた開放を、1日も休むことなく行うことができました。

しかし、危険なくらい暑く「熱中症警戒アラート」が発表された日が、12日のうち9日もありました。それにもかかわらず、今年は1日も中止にすることなく、プール開放することができました。それは、保護者の方のご意見により、今年度のプール開放を午前にしたからです。「熱中症警戒アラート」は、朝から発表されますが、学校に設置してある熱中症計が、午前中に「危険」になることは1度もありませんでした。午前中プール開放のご意見をいただいた保護者の方に感謝しています。おかげで、子どもたちはプールでの水泳を十分に楽しむことができました。ありがとうございました。

今年度は、延べ600人の子どもたちが、夏休みの水泳を楽しんでくれました。7人の子どもたちは、皆勤賞で12日間休むことなくプールに来てくれました。本当によくがんばってくれました。私も、毎日プールに行きましたが、日に日に子どもたちの上達する様子を見ることができました。特に、1年生の上達には目を見張るものがありました。ライフジャケットを着けないと大プールに入れなかった子が、後半にはライフジャケットも着けずに大プールに入り何メートルも泳いでいました。泳げるようになった子どもたちは、うれしかったと思います。

何より無事にプール開放をすることができたのは、保護者の皆様がプール当番をしてくれたからです。暑い中、本当にありがとうございました。



図書室作業中

現在、図書室の充実をめざして大々的に図書室の整理を行っています。その内容は大きく2つです。

一つ目は、現在ある図書の本を整理し、バーコードシールを貼りパソコンで管理することです。そのために、必要な図書か廃棄する図書か選別をします。そして、必要な図書にはバーコードシールを貼ります。これができるれば、貸し借りの時に、貸し出しカードに記入したり、判を押したりすることなく、バーコードリーダーを使って簡単に貸し借りができるようになります。

二つ目は、図書分類法に従って本を並べることです。本に書かれた内容つまりテーマ、主題によってグループに分けて、そのグループを順番通りに棚に並べ、本を探しやすくするための方法です。これらが完成すれば、子どもたちにとって使いやすい魅力的な図書室になるとと思います。始業式の日、「図書室で20冊本を借りたいです。」と目標を発表した子どもがいました。その子に目標を達成してもらうためにも、全教職員で協力してすすめていきます。

